

建設の機械化

1997.10

No.572



- ◆巻頭言 江戸の下水道から近代下水道へ……………松井大悟 1
東京港臨海道路西航路トンネル建設工事における沈埋函の製作
およびニューマチックケーソン工法による換気立坑の施工
……………村中俊夫・岸本孝夫・林伸行・小山文男 3

グラビア——東京港臨海道路西航路トンネル

- 水路インバート急速補修工法（CIC ロボット工法）の開発
—中部電力上麻生発電所トンネル補修工事—
……………野池悦雄・千々岩三夫・吉池章 10
先行削孔（BG 工法）併用鋼管柱列土留工の施工
……………藤井俊秀・木村隆一郎・太田義己 17
縦2連MFシールドの開発—掘削断面の低減が可能—
……………吉村宗男・大友充・内山進 24
組鉄筋と多目的建機による擁壁構築の省人化
……………清水伸彦・会川利晴 30

グラビア——組鉄筋と多目的建機による擁壁構築の省人化

- スパイラルドレーン工法の施工と周辺技術の開発……………三浦仁 38
モロッコ道路保守建設機械訓練センタープロジェクト……………萩原哲雄 44
◆ずいそう ちぢばかの記……………渡辺正男 48
◆ずいそう 夏祭り……………古川啓吉 50
「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」および
「建設機械の騒音および振動の測定値の測定方法」の告示
—低騒音型・低振動型建設機械の指定制度の改正—……………田中衛 52



◆わが工場	ミゾタ 製造本部	坂田 元秀	56
◆部会報告	高速自動車道北陸自動車道 山王および親不知トンネル工事見聞記	機械部会	60
◆トピックス	施工情報化協議会が発足—ICカードで建設現場情報を共通化—	施工情報化委員会	62
◆新機種紹介		調査委員会	64
◆お知らせ	排出ガス対策型エンジンの認定および 排出ガス対策型建設機械の指定について(追加)		70
◆統計	安全・環境保全《安全》；建設工事受注額・機械受注額の推移		78
行事一覧			82
編集後記		(萩原・望月)	84

◇表紙写真説明◇

大型ビル解体専用機
SK 700 D

株式会社神戸製鋼所

近年、ビルの老朽化、空間の有効利用、都市の再開
発などによりビルの解体工事が増加するとともに、
解体されるビルも大型化してきています。

こうした時代の変化に合わせて開発されたのが、10
～11階建てビルの解体が地上から行える大型ビル解
体専用機SK 700 Dです。

高所作業をより安全に進めていくうえで必要な機体
の安定性を向上させるために、足回りには低重心・低
接地圧設計で定評のあるクローラクレーンの機構を採
用。さらに許容角度以上の車体傾斜をブザーで知らせ
る「車体傾斜警報装置」や、アーム先端が転倒危険域

に近づくとき警報する「転倒警報装置」など数々の機能
を装備して高所作業をサポートしています。しかも大
型油圧ショベルで培った高出力パワープラント、中型
油圧ショベルで好評の快適ヒューマンチックキャブ、そ
して静破碎工法で長年の実績を積む「ニブラー」な
ど、多彩な技術を結集しています。

主な仕様

最大作業高さ	35,250 mm (圧砕機先端 35,250 mm)
旋回速度	5.3 min ⁻¹ (rpm)
走行速度	2.2/1.4 km/h
登坂能力	30° (58%)
接地圧	86 kPa (0.88 kgt/cm ²)
エンジン型式	三菱6D22TC
エンジン定格出力	221 kW/2,000 min ⁻¹ (300 PS/2,000 rpm)
クローラ全長	5,590 mm
クローラ全幅	4,530/3,200 mm (油圧伸縮式)
全装備質量	68,000 kg